

**新登場。市民による「野党共闘」ってなんですか？
「こんな道もある」**

全国各地で続々と **市民連合**  詳しくはHP等
ご確認ください

野党へ政策提言 shiminrengo.com check!

野党に共闘の要請。候補者を擁立。候補者と協定書調印

①格差・貧困の拡大や雇用の不安定化ではなく、公正な分配・再分配や労働条件にもとづく健全で持続可能な経済
②復古的な考え方の押しつけを拒み、人権の尊重にもとづいたジェンダー平等や教育の実現
③マスコミや教育現場などにおける言論の自由の擁護
④沖縄の民意をふみにじる辺野古新基地建設の中止
⑤脱原発と再生可能エネルギーの振興

日本共産党 民進党
社民党 生活の党

2016 野党共闘成立

◎2014年 衆議院「アベノミクス解散」

なぜ共闘？【低投票率 × 小選挙区】

獲得議席 得票

野党	149議席	与党	326議席
DEAD 0%	28%の得票率で 31%のみの議席	25%の得票率で 69%の議席占有	
無投票 47%	各野党計 28%	与党 25%	
2014衆院選後 TVのインタビューにて 今の中には期待できないので「行かない」という意思表示をしました	無投票の人 通信関連(26)	自民党支持層 公明党支持層(割合学会票) 財界・経団連(資本層) 日本国議(国家主義層)など 成長 改憲	
47%	投票率:[52.66%](戦後最低)	SUMMER! Go Vote!	

2016年7月は 参議院議員選挙です

右記ウェブより【印刷・入稿可能データ】【出力用PDF】がDL可能です。
図表作成の「参考資料・出典・文献・引用元」は、右記ウェブにて掲載。
●政治・社会のしくみをより知りたい会・発行

著作権 FREE 印刷・複製・配布、ご自由に。
graph-d.wix.com/lesson3



Check it out! 【安倍政権／実施政策一覧集】

2016年7月は参議院議員選挙です
(衆参同日選も?)

FREE PAPER

安倍政権パートナーズと政権・政策ポジション図

超熱心な「政治参加者」たち

政策提言 BIG 3

働きかけ・ロビー活動・圧力・世論喚起

図表作成の「出典・引用元」は、ウェブにて掲載

1

新自由主義層/競争原理・勝者取り

米国

パワーエリート層
(特に共和党)ワシントン人脈
軍産複合体
グローバル大企業
民間シンクタンク集団的自衛権容認へ
9条は障害だ

Boots on the ground

「国際的利益」へ
日本も軍事力を

経団連

財界・ロビー団体等

経済財政諮問会議等
【安倍政権メンバー】

TPP

雇用の規制緩和

武器輸出

原発推進

法人税減

消費税増

2

成長

3

日本最大の保守圧力団体

世論喚起



安倍政権

官邸

日本会議国議員内閣の多数占める

首相補佐官

衛藤邑一議員

1970年代 生長の家

政治運動出身者

改革ツイッター

日本会議国議員:安倍首相

NIPPON NOW!

【国の借金】

1,049兆円

2015年度末

自民党の変質

[2004年~保守本流の終焉]

自民派闇政治の破壊

自民党をブチ壊す!

抵抗勢力の放逐

ハト派に慕引き、タカ主役

派遣労働拡大等、政策右傾化

小泉劇場

美しい国

日本会議国議員懇談会

281名(自民:256名)

国を愛する

40年に渡る地道な憲法改悪運動

右派市民による運動の結果

安倍政権による否定

美しい日本の憲法をつくる国民の会

1970年代 生長の家

政治運動出身者

事務局長/梶島有三氏

安倍晋三/伊藤哲夫氏

首相補佐官/衛藤邑一議員(参)

夫婦別姓反対/ジェンダーフリーの否定

美しい日本の憲法をつくる国民の会

桜井よしこ氏

百田尚樹氏

舞の海氏等

「公共の福祉」

すべての人間の権利がバランス

よく保障されるように、人権と人権の衝突を調整。(憲法13条)

個人主義じやないよ

個人の尊重だよ

「公共の福祉」は多様な「個人」の尊重から成り立っています。

自分なりの争点と、生き方と、存在と、投票と。

JAPAN

争点も多様



在日米軍関係経費(2015年度)
(おもいやり予算含む) 7,278億円

【軍需産業の再興】
武器輸出/防衛装備庁設置

【イマドキの安全保障環境】
(1989)冷戦後、世界は繋がる
資本主義経済でグローバル化

國土防衛から、国際秩序・
市場・富の防衛も主眼へ

富の集中化

富の集中化

豊かに。
日本の企業・富
ケイマン諸島
63兆円
(2014年)

受益 / 1%層へ

勝者は、
大企業・投資家・株主
重視の分配

大資本への分配

弱者は、
自助努力。

弱者は、
就労前の格差
負担・格差 / 99%層へ

格差
良質な「消費者」の減少。実体経済の悪化

循環しない経済
トリクルダウン起こらず
増える低賃金層

個人消費の停滞

低賃金 + 物価の上昇 + 消費税の増税 + 社会保険料の負担増

・生活困窮者・病気療養者
・介護世帯(老若介護)・障害者
・年金受給者・子育て世代

福祉職の低い賃金
・介護士、保育士の離職

奨学金による貧困
・1兆円にも上る返済額

自助努力の限界。